

2020 年度・2021 年度
地層処分事業に係る社会的側面に関する研究支援事業Ⅱ
第 5 回 運営委員会 議事録

【日時】 2021 年 12 月 16 日（木）15:00～17:30

【場所】 TKP 品川カンファレンスセンター 会議室

【出席者】（順不同、敬称略）

○委員長

原田 久（立教大学 法学部 教授）

○委員

齊藤 誠（名古屋大学大学院 経済学研究科 社会経済システム専攻 教授）

勢一 智子（西南学院大学 法学部 教授）

高橋 信（東北大学大学院 工学研究科 技術社会システム専攻 教授）

朽山 修（公益財団法人原子力安全研究協会 技術顧問）

○オブザーバ

松野 尚哉（経済産業省資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 放射性廃棄物対策課係長）

大貫 智弘（原子力発電環境整備機構 事業計画部長）

大野 裕行（原子力発電環境整備機構 事業計画部 企画グループマネージャー）

佐治 祐輔（原子力発電環境整備機構 事業計画部 企画グループ課長代理）

仁戸部真生（原子力発電環境整備機構 事業計画部 企画グループ）

○運営事務局

【議題】

- 1 成果報告書、成果概要について
- 2 成果報告会について

【資料】

- ・ 議事次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料 1 研究成果報告書一式¹
- ・ 資料 2 予稿集（案）¹
- ・ 資料 3 成果報告会の概要（案）

【議事概要】

1. 成果報告書、成果概要について¹

- 委員長より、開会の挨拶が行われた。
- 運営事務局より、各研究の状況について説明があった。
- 資料 1 に基づき研究成果報告書について、資料 2 に基づき成果概要について、委員より確認、意見交換がなされた。
- 委員より、全体を通じて以下のコメントがあった。
 - ✓ 異なる視点からの研究を実際に進める上では難しい部分があるものの、それをどう拾い上げて研究支援事業の成果に繋げるかが重要だと考えている。
 - ✓ 研究代表者には採択の段階で、期待している成果像などについて委員会として伝えてもよいの

¹ 成果の内容が公開されることで申請団体の正当な利益が害される可能性があるため、詳細については非公開。

ではないか。

- ✓ 研究成果を他者と共有し議論できるということが重要であり、そのようなかたちで研究を進められるとよい。
- ✓ 共同研究については各研究のシナジーを高めるような研究運営が望ましい。
- 委員長より、全体を通じて以下のコメントがあった。
 - ✓ 研究代表者には採択の初期の段階で、研究成果を社会にどう分かりやすく伝えるかという点を意識いただけるよう、委員会として伝えてもよいのではないか。

2. 成果報告会について

- 運営事務局より、資料3に基づき成果報告会について、資料2に基づき予稿集について説明がなされた。

以上